

# 大和郡山 防災ニュース 3.11月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、様々な取組や防災情報を提供します。

## 地震が起こったら！我が家は安全？ 自宅の耐震性を確認しておきましょう！

様々な災害のうち、最も多くの避難者数が想定されるのはやはり地震です。特に奈良で大きな被害が想定されるのは阪神淡路大震災のような内陸性の活断層が動く地震による災害であり、その際の最大震度は市内東部で7、中部で6強、西部で6弱と想定され、避難者の最大想定人数は3万人(死亡者推定約500名)、家屋の全壊半壊併せて1万6千棟が想定されています。(奈良盆地東縁断層帯を想定、本市地域防災計画より)

内陸性地震の発生周期について、一つ一つの活断層は数百年から数千年と長いですが、本市への影響が考えられている断層が知られているもので8つあり、このほか未知の断層の存在も否定できないなど数多く、また、東日本大震災のようなトラフ型地震が発生する直前には地盤の緊張感が高まり、内陸型地震も発生しやすい状況になります。例えば、167年前、本市でも死者150人を数えた伊賀上野地震は、トラフ形地震である安政大地震のわずか半年前に起こった地震でした。南海、東南海トラフ地震の今後30年の発生確率が80%といわれている現在、注意が必要な時期に入っていると言えます。



## コロナの時代の避難対策について～「分散避難」のすすめ

小中学校、公民館等市内38ヶ所の避難所には地域防災計画でそれぞれ定員が定められていて、合計すると先述の最大想定避難者数がほぼ収容できることになっていますが、その場合相当な密集状況となってしまう、感染予防のため三密を避けることと矛盾してしまいます。

過去の東日本大震災など大災害でも、避難所内でO157やノロウイルスの感染が広がっていたという話も伝えられており、本市でも、市指定避難所において避難者毎の距離を2m取ることや消毒や換気の徹底などを定めていますが、この方針を実効性のあるものとするためには、避難は「難を避ける」ことであり、被災者がそれぞれに最も安全かつ快適な場所(友人や親戚の住居や自宅に留まる「在宅避難」)に避難する「分散避難」の検討が必要となってきます。



## マンションや耐震性建物では「在宅避難」を検討しましょう！

マンションは鉄筋コンクリート建てで地下の支持岩盤まで届く基礎構造を持っている強固な建物であるため、一戸建て住宅と比較して大きな地震にも耐えられると言われていています。このため最近では、マンシ

マンションは在宅避難が基本であると言われていています。また、昭和57年以降に建築された建物については現在の耐震基準が適応されており、お住まいの住宅の耐震性を知る上で参考にいただけます。なお、建物の耐震は強度だけでなく、その建物がどこに建っているかも影響します。活断層に近い場所であるとか、盛り土や旧河川敷などで液状化が心配される地域では耐震建物でも注意が必要です。（本市発行「総合防災マップ」の地震ハザードマップ参照）

また、マンションなどでは、建物は無事だが、配水管が破損してトイレが使いなくなるケースも出てまいります。配水管の検査キットが販売されていますので自主防災組織で備蓄の検討をされたいかがでしょうか。また、水洗トイレが使いなくなったときに備えて、携帯トイレを備蓄しておくことも在宅避難のための有効な方法です。

### 「在宅避難」でも市からの食料等の支援を受けられます！

阪神淡路大震災の時代には、避難所に入れた人には食料が配られるが、定員オーバーで入れなかった人には配給がありませんでした。この反省から現在は、避難所へ避難された方と在宅避難の方には公平に配給を行うこととなっています。なお、在宅避難の方が配給を受けるためには市指定避難所に在宅避難者登録を行い、配給毎に当該避難所まで出向いていただく必要があります。しかし災害時にはいつ配給が可能か不明であることもあり得ます。地域におかれましては、在宅避難者登録は自治会単位で行うなどの避難計画策定をご検討いただき、いざ災害時にはご近所同士でまとめて対応していただけるような体制づくりをお願いいたします。



※本市発行「防災における自治会の役割『避難計画をつくろう！』」もぜひ参考にしてください。市HPからご覧になれます。また、市民安全課窓口でも受け取れます。

### 「災害時の避難行動マニュアル」をご活用ください

各個人がどのように災害に備えたら良いか、災害の種類毎に記載している「災害時の避難行動マニュアル」を市HPに掲載し、市民安全課窓口でもお受け取りになれます。お手元の「総合防災マップ」共々ぜひご活用ください。



### 自治会などの防災出前講座依頼も受付中！ 少人数でも訪問します。市民安全課までご相談ください

このニュースは、市民安全課、市内の各支所、矢田コミュニティ会館、南部公民館で配布しています。また、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース 🔍 検索

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ！』をご覧ください

大和郡山市消防団へようこそ 🔍 検索

発行人 市役所市民安全課